

平成27年度第3回青森市子ども・子育て会議（会議概要）

- 1 開催日時 平成28年2月5日（金）18:30～20:07
- 2 開催場所 青森市福祉増進センター 3階 大会議室
- 3 出席委員 内海隆 会長、天内博久 委員、一戸倫子 委員、伊藤えり子 委員、
（13名） 今村良司 委員、長内雅子 委員、工藤協志 委員、今一志 委員、
坪谷輝子 委員、成田綾子 委員、沼田久美 委員、橋本歩 委員、
宮崎秀一 委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席者 健康福祉部長 赤垣敏子、
（13名） 健康福祉部理事次長事務取扱 能代谷潤治、
健康福祉部参事青森市保健所健康づくり推進課長事務取扱 山口朋子、
子育て支援課長 鹿内利行、子育て支援課副参事 松本和久、
浪岡事務所健康福祉課長 加福拓志、
子どもしあわせ課長 西澤哲司、主幹 山崎真治
子育て支援課主幹 鳥谷部稚子、主幹 駒ヶ嶺祐、主査 川村拓、
主事 山内一潤、主事 川浪昭仁

6 会議次第

- (1) 開会
- (2) 健康福祉部長あいさつ
- (3) 議事
特定教育・保育施設の確認に係る利用定員について
- (4) その他
(仮称) 青森市子ども総合計画について
- (5) 閉会

7 議事概要

- (3) 議事
特定教育・保育施設の確認に係る利用定員について
事務局から資料1について説明。

質疑

- 委員 過去3年の平均利用人数よりも多い利用定員を定める施設があるが、施設や人員配置などの最低基準はクリアしているか。

- 事務局 全ての施設が基準に適合していることを確認している。
- 委員 給食を外部搬入する施設もあると思うが、契約状況などの確認はできているか。
- 事務局 確認している。
- 委員 園の名称は、表記のルールなどを十分理解した上で決定されているものか。
- 事務局 名称については、申請者に何度も確認している。

その他、異議がなく、原案どおり可決された。

(4) その他

(仮称) 青森市子ども総合計画について

事務局から参考資料1、参考資料2について説明。

質疑・意見

- 委員 (仮称) 子ども総合計画の計画期間中に子ども・子育て支援事業計画の見直しがあるが、市はどう考えているのか。
- 事務局 子ども総合計画は上位計画である市の総合計画や他の分野別計画と終期を合わせているが、社会経済情勢の変化により、計画期間内であっても見直しが必要であれば、適宜見直しを図っていく。
- 委員 ボランティア活動の推進に当たっては、受入れ側と送り出す側の調整をしっかりと行っていただきたい。ボランティア活動の受け入れが、地域への社会貢献の一環であるということを、行政としてしっかりと謳っていただきたい。
- 委員 ボランティア活動の推進とあるが、学校で行うのか、学校外で行うのかなど、具体的な考えはあるのか。
- 委員 公園や公民館、児童館などに行かないような子どもを対象とした遊び場や居場所を設定しているのか。
- 委員 ひとり親になりそうな家庭への相談業務などがあれば良いと思う。
- 委員 すみれ寮が非常に利用しにくいと思うので、もっとスムーズに入所できるようにしてほしい。
- 委員 子どもの貧困対策の実施について、子どもが勉強ができないとか、家が貧しいなどという情報が漏れる危険性があると思う。
- 委員 子ども総合計画を進める上で、行政の縦割りが起きないように、福祉関係の他に学校も巻き込むことが大事になるし、家庭教育をどのようにやるかということも視野に入れながら考えていかなければならない。地区カルテの作成にあたっては、多分行政だけで動いてはできないと思う。
計画の一つずつの細かいことはよくできていて、いい計画だと思うので、行政と民間の垣根を取り払いながら運営をしてほしい。
- 事務局 地区カルテについては、地区の中の様々な関係者の情報を載せるだけではなく、関係者の方が一同に集まって作っていくイメージで、現在準備を進めているところ。